

# 地域ビジョン「田舎の親類村」計画と連携して

## 「菅畑地区」田舎の親類村」資源保全隊

にいがたげん ながおかしすがばたけちく  
(新潟県長岡市菅畑地区)

### 地区のようす

【協定対象面積】 73.9ha (田:49.9ha 畑:24.0ha)

【資源量】 用水路10.0km 排水路4.8km ため池1箇所 農道9.3km

【農家戸数】 46戸 (混住化率:50% 高齢化率:56%)

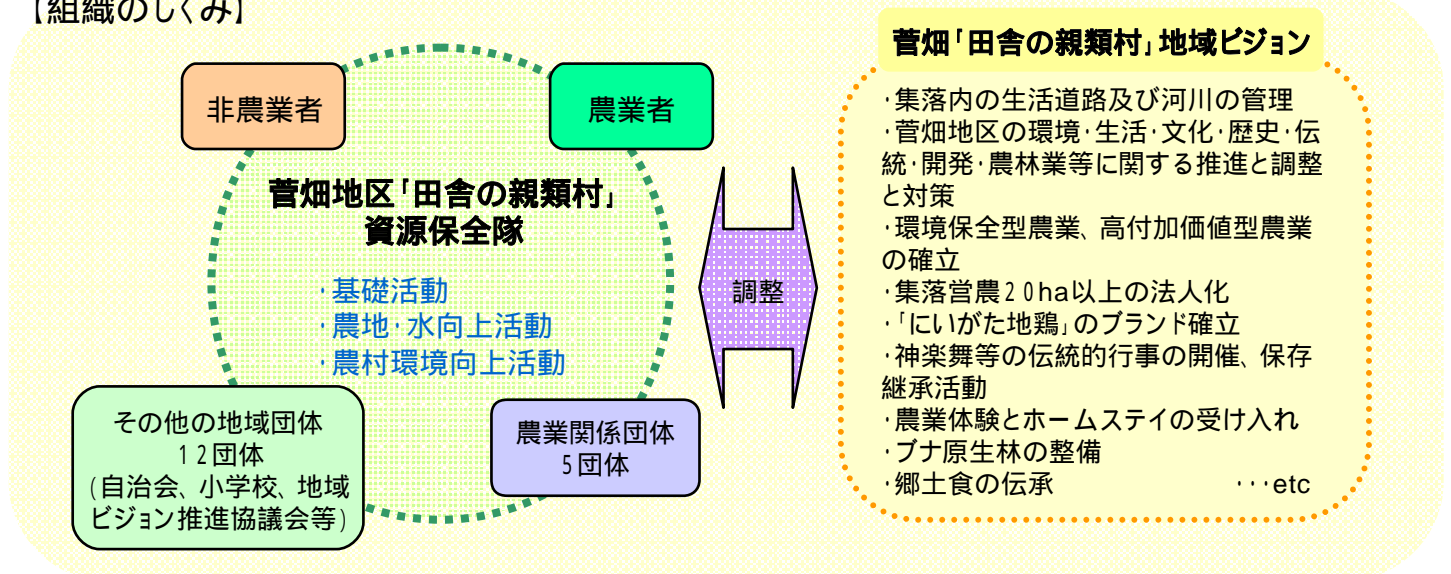
菅畑地区は、旧栃尾市の中央部に位置し、山々に囲まれた稲作中心の中間農業地域です。

本地区は集落の活性化のために、平成13年度に策定された新潟県長期総合計画に基づき、都市との交流・連携を進め、健康的でゆとりのある暮らし、また新規就農者・産業の育成など定住を促進する体制整備を図ることを目標とした菅畑「田舎の親類村」地域ビジョンを策定しています。現在その実現に向け、地域の自然・文化・歴史・伝統・生活・農林業など地域の宝を大切に新たな地域づくりに努めています。

このような状況の中、農地、農業用排水路等の資源の保全管理もこの地域ビジョンと調整を図りながら効率、効果的に実施する必要があると考えます。

### 『活動組織』～地域みんなで取り組もう！多様な主体が参加した共同活動組織～

#### 【組織のしくみ】



#### ～苦労・工夫したところ～

・従来から集落の各組織が菅畑「田舎の親類村」地域ビジョンに基づき各種活動に取り組んでおり、本対策をその地域ビジョン実現に向けた活動として実施することとしたため、多種多様な地域組織が参加した活動組織を立ち上げることができました。

・農地や農業施設の維持管理に非農家の住民が参加することについての理解を得ることが課題であったが、「楽しみながら」をモットーに、また地域住民の和を広げ、絆を深めることに配慮してより多くの地域住民が活動に参加する体制づくりを重点として、組織づくりを進めました。

### 『活動計画』～活動組織が策定する夢のある共同活動計画～

#### 1. 共同活動により目指す地域振興の方向や目標

菅畑「田舎の親類村」地域ビジョンとの調整を図りながら本対策を進め、地域の農地、農道、農業用水路等の地域資源を適切に保全管理し、並びにこれらの資源の長寿命化及び農村環境の保全に資する取り組みを地域ぐるみで連携して実施することで集落の活性化と地域農業の維持発展を図ります。

## 2. 活動の概要

活動の区分	活動の概要
基礎部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>各農業用施設及び遊休農地の点検を実施し、共同活動計画を策定する。</li> <li>用排水路、ため池、農道の草刈り及び土砂上げを年2回実施する。</li> </ul>
農地・水 向上活動 【取組割合】 57%	<ul style="list-style-type: none"> <li>各農業用施設の機能診断を実施し、記録を管理するとともに年度活動計画を策定する。</li> <li>機能診断の結果に基づき、簡易な補修や保全管理活動を実施する。</li> <li>洪水後の見回りを適宜実施する。</li> </ul>
農村環境 向上活動 【選択テーマ】 生態系保全 景観形成・生活環境保全 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>各テーマに関する年度活動計画を策定する。</li> <li>環境保全活動の啓発普及のために看板やパンフレットを作成する。</li> <li>小学校と連携し、総合学習として環境教育を実施する。</li> <li>農道に花壇や景観植物を植栽しフラワーロードを設け環境美化に努める。</li> <li>再生可能な地域資源を活用し、堆肥づくりに取り組む。</li> </ul>

### ～ 苦労・工夫したところ～

中山間地域の農業農村の維持発展には、その地域にいかにか活力があるか、多くの住民が住んでいるかが重要であり、それを実現するためには、地域の和と絆を大切にすることが必要です。そのため、本対策の計画策定にあたっては、より多くの住民が本対策の活動に関われるよう、また地域ビジョンに基づく効率的な活動及び地域ビジョンに示す地域づくりに繋がるよう配慮し、既存の地域組織ごとに活動計画を立て、その後全体計画を樹立するといった方法をとりました。

## 取り組み状況 ～特徴的な取り組みを紹介します～

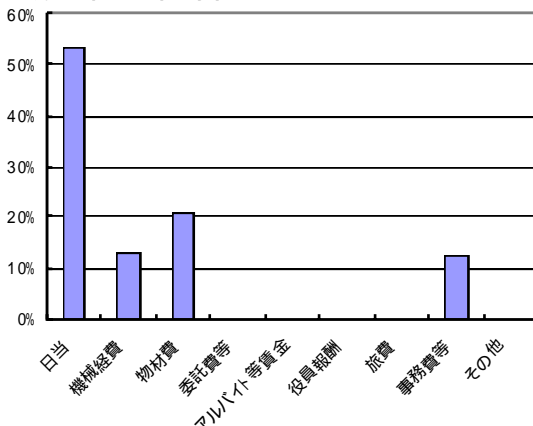
### 生き物調査で実感！環境にやさしい農業の大切さ

地域内外の子供達を中心に延べ109名が参加して、田んぼの生き物調査を年間3回実施しました。農薬の使用や乾田化等により、田んぼの生き物が殆ど見られない時期があったが、現在、減農薬等の環境にやさしい農業に取り組んでいることもあり、今回の調査では様々な生物を確認することができ、自然と共存していることを再認識することができました。

また、環境保全の大切さを子供達と知り得ることができ、大変有意義な活動となりました。



### 【助成金使途内容】



農村環境保全の啓発活動とし50本の看板を作成し、地区内に設置しました。そのおかげで除草剤の使用は殆どなくなりました。今後も自然との共生や環境調和に心がけていきます！



### みんなで創造する地域の生態系と農村景観

耕作放棄地の解消と地域の景観形成、生物の生息・生育環境づくりを目的に、地域の多様な主体が参画して休耕田をピオトープとして整備し、水芭蕉150株を植栽しました。

また、水路や農道沿いにコスモスを植え、約500mのコスモス街道をつくりました。秋には、トンボや蝶が飛び交い、親子連れやカメラマン等が訪れたり、とても素敵な景観を楽しむことができました。

今後も、愛着たっぷりのこれらの施設をしっかりと保全管理していきます。



・今後の持続的な取組のための体制づくりに重点を置き、外部へ作業委託はせず、集落住民が協調して取り組む活動に対して日当を支払うこととしました。

### 活動組織からの声

・休耕地や耕作放棄地が増えている状況の中、集落の住民が連携して遊休農地の解消活動に取り組み、老若男女の交流が図られ、将来への夢も膨らみ楽しかったです。

・環境保全について考えなければならない時代に、子供たちと一緒に環境保全活動に取り組み、子供達への啓発だけでなく、大人も環境保全の取組の大切さに改めて気づき、今後の更なる環境保全活動へとつながる良い機会となりました。